

P R E S S   R E L E A S E



報道関係者各位

2017年12月28日

株式会社レノバ

## 那須烏山ソーラー事業 プロジェクトファイナンス組成

～売電単価 36 円/kWh 案件、事業収益の大きな柱のひとつとして～

栃木県那須烏山市にて大規模太陽光発電所の設置を計画している株式会社レノバ（本社：東京都千代田区大手町、代表取締役社長 CEO 木南陽介 以下、レノバ）は、2017年12月28日、当社が主導する那須烏山ソーラー事業（栃木県、2019年5月運転開始予定）においてプロジェクトファイナンスを組成しました。

本事業は、レノバにとって、2014年2月に運転開始した水郷潮来ソーラー（茨城県）から数え11カ所目の大規模太陽光発電所となります。また、2017年10月31日に起工式を迎えた四日市ソーラー発電所（三重県、2019年3月運転開始予定）に続き、本事業年度に着工となる2件目の売電単価36円/kWhの案件であり、レノバの事業収益を支える大きな柱のひとつとなる予定です。

このたび組成されたプロジェクトファイナンスは、三井住友信託銀行株式会社を主幹事とし、また融資シンジケート団には、地元企業である株式会社栃木銀行をはじめ、株式会社秋田銀行、株式会社北都銀行、株式会社七十七銀行、株式会社第四銀行、株式会社青森銀行の計6行の金融機関に参加いただいています。



<那須烏山ソーラー イメージ図>

## <那須烏山ソーラー事業 概要>

- 発電所名： 那須烏山ソーラー発電所
- 所在地： 栃木県那須烏山市田野倉
- 出力規模： 約 19.2MW
- 想定年間発電量： 約 2,150 万 kWh（一般家庭 6,300 世帯の年間使用電力量に相当）
- 開発面積： 約 41.5 ha
- 着工予定： 2018 年 1 月
- 運転開始予定： 2019 年 5 月

※上記事業の概要は現時点での計画値であり、今後変更となることがあります。

また、本事業の開発に当たっては、地域の活性化・経済貢献への一翼を担いつつ、希少動物の保護など周辺環境に配慮した工事を行ってまいります。また、着工から運転開始後まで、安全・防災に配慮し、安全、安心な発電所を目指します。

レノバは本事業の事業計画の策定から、開発プロセス全般を主導してまいりました。今後は、レノバなどが出資する匿名組合事業として「合同会社那須烏山ソーラー」が事業者となります。

### 【株式会社レノバについて】

レノバは、2000 年 5 月に環境・エネルギー分野での調査・コンサルティング事業を創業し、2012 年から再生可能エネルギーを利用した発電事業を中心に行っている環境ビジネス専門の会社です。現在、大規模太陽光発電所を 10 カ所（うち 3 カ所は建設中）、バイオマス発電所を 1 カ所運営しています。また、日本最大級の洋上風力発電事業の開発を推進するなど、常に先進的な分野へ取り組むことで、日本・アジアにおけるエネルギー変革のリーディング・カンパニーになることを目指しています。

### 【報道関係からのお問合せ先】

株式会社レノバ 社長室 田中、窪田

電話：03-3516-6263 メール：press@renovainc.jp